



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社 七十七銀行
 コード番号 8341 URL <https://www.77bank.co.jp/>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 取締役頭取
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

(氏名) 小林 英文
 (氏名) 小林 寛
 特定取引勘定設置の有無 無

TEL 022-267-1111

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(記載金額、比率等は単位未満を切り捨てて表示しております。)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	32,015	1.9	8,990	△0.8	5,816	△10.3
2020年3月期第1四半期	31,399	3.9	9,063	△11.6	6,489	△26.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 17,276百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 409百万円 (△96.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	78.74	—
2020年3月期第1四半期	87.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,300,056	462,891	4.9
2020年3月期	8,770,037	447,436	5.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 462,891百万円 2020年3月期 447,436百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	△36.9	7,000	△38.1	94.76
通期	21,000	△20.1	14,500	△20.5	196.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	76,655,746 株	2020年3月期	76,655,746 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	2,775,868 株	2020年3月期	2,788,464 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	73,868,210 株	2020年3月期1Q	74,168,454 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

[目 次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
（追加情報）	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5
〔説明資料〕 2020年度第1四半期決算について【単体ベース】	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、有価証券利息配当金の増加等により資金運用収益が増加したこと等から、前年同期比6億16百万円増加の320億15百万円となりました。

他方、経常費用は、与信関係費用の増加等によりその他経常費用が増加したこと等から、前年同期比6億89百万円増加の230億25百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比73百万円減少の89億90百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比6億73百万円減少の58億16百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の連結財政状態につきましては、預金（譲渡性預金を含む）は、公金預金は減少したものの、個人預金および法人預金が増加したこと等から、前連結会計年度末比3,098億円増加し、8兆1,758億円となりました。

一方、貸出金は、中小企業等向け貸出の増強に努めましたほか、大企業向け貸出が増加したこと等から、前連結会計年度末比534億円増加し、4兆9,397億円となりました。また、有価証券は、国債の運用額が減少したものの、地方債等が増加したことから、前連結会計年度末比27億円増加の2兆9,063億円となりました。

なお、総資産の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比5,300億円増加し、9兆3,000億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、2020年5月15日に公表した業績予想から修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（追加情報）

国内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当面は弱い動きが続くものと見込まれると仮定し、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う業況悪化等を含め、四半期連結財務諸表作成時点において、入手可能な情報に基づき、貸倒引当金を計上しております。

なお、サプライチェーンの毀損に伴う生産活動への影響や個人消費の落ち込みが続くことにより、景気が一段と下振れするリスク等も懸念される状況にあるため、将来、貸倒引当金は増減する可能性があります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
現金預け金	747,105	1,154,726
コールローン及び買入手形	429	30,500
買入金銭債権	4,000	4,000
商品有価証券	18,873	28,532
金銭の信託	82,344	84,197
有価証券	2,903,632	2,906,383
貸出金	4,886,221	4,939,701
外国為替	9,528	9,778
リース債権及びリース投資資産	19,261	19,149
その他資産	79,792	109,255
有形固定資産	32,251	31,899
無形固定資産	384	375
繰延税金資産	4,173	985
支払承諾見返	45,258	46,429
貸倒引当金	△63,220	△65,859
資産の部合計	8,770,037	9,300,056
負債の部		
預金	7,576,991	8,043,005
譲渡性預金	289,000	132,800
コールマネー及び売渡手形	8,706	2,154
債券貸借取引受入担保金	11,986	—
借入金	285,901	507,491
外国為替	116	239
その他負債	77,058	75,034
役員賞与引当金	81	—
退職給付に係る負債	25,539	25,089
役員退職慰労引当金	26	27
株式給付引当金	735	769
睡眠預金払戻損失引当金	337	317
偶発損失引当金	860	853
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	—	2,952
支払承諾	45,258	46,429
負債の部合計	8,322,600	8,837,164
純資産の部		
資本金	24,658	24,658
資本剰余金	20,517	20,517
利益剰余金	361,462	365,422
自己株式	△7,040	△7,005
株主資本合計	399,597	403,592
その他有価証券評価差額金	56,207	67,230
繰延ヘッジ損益	△826	△671
退職給付に係る調整累計額	△7,541	△7,260
その他の包括利益累計額合計	47,838	59,298
純資産の部合計	447,436	462,891
負債及び純資産の部合計	8,770,037	9,300,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
経常収益	31,399	32,015
資金運用収益	18,395	19,336
(うち貸出金利息)	10,420	10,307
(うち有価証券利息配当金)	7,924	8,946
役務取引等収益	4,245	3,988
その他業務収益	3,442	2,973
その他経常収益	5,315	5,717
経常費用	22,336	23,025
資金調達費用	722	470
(うち預金利息)	282	118
役務取引等費用	1,562	1,582
その他業務費用	4,122	3,237
営業経費	13,839	13,764
その他経常費用	2,089	3,969
経常利益	9,063	8,990
特別利益	—	—
特別損失	0	0
金融商品取引責任準備金繰入額	0	0
税金等調整前四半期純利益	9,063	8,990
法人税、住民税及び事業税	1,573	2,009
法人税等調整額	999	1,164
法人税等合計	2,573	3,173
四半期純利益	6,489	5,816
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,489	5,816

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	6,489	5,816
その他の包括利益	△6,080	11,460
その他有価証券評価差額金	△6,269	11,023
繰延ヘッジ損益	△18	154
退職給付に係る調整額	208	281
四半期包括利益	409	17,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	409	17,276

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当ありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当ありません。

2020年度第1四半期決算について【単体ベース】

1. 収益状況

2020年度第1四半期累計期間の**コア業務純益**は、有価証券利息配当金の増加等により資金利益が増加したこと等から、前年同期比13億11百万円増益の84億18百万円となりました。**経常利益**は、与信関係費用の増加等により、前年同期比2億23百万円減益の91億2百万円となりました。また、**四半期純利益**は、前年同期比8億17百万円減益の61億21百万円となりました。

5月15日に公表した2020年度第2四半期累計期間(中間期)の業績予想に対しては概ね計画どおりに推移しており、現時点において業績予想の修正はありません。

(単位:百万円)

	2020年度 第1四半期 累計期間 (3ヵ月間)	前年同期比	2019年度 第1四半期 累計期間 (3ヵ月間)	2020年度 第2四半期 累計期間 業績予想 (6ヵ月間)
経常収益	29,615	522	29,093	
業務粗利益	20,433	1,314	19,119	
[コア業務粗利益]	[21,011]	[1,224]	[19,787]	
資金利益	19,515	1,146	18,369	
役務取引等利益	1,937	△ 301	2,238	
その他業務利益	△ 1,019	468	△ 1,487	
うち国債等債券損益	△ 577	90	△ 667	
うち外国為替売買損益	△ 551	810	△ 1,361	
経費	12,592	△ 87	12,679	
うち人件費	6,710	△ 60	6,770	
うち物件費	4,854	△ 272	5,126	
実質業務純益(一般貸引繰入前業務純益)	7,841	1,401	6,440	
[コア業務純益]	[8,418]	[1,311]	[7,107]	[11,600]
[コア業務純益(除く投資信託解約損益)]	[4,137]	[△ 942]	[5,079]	
一般貸倒引当金繰入額①	777	801	△ 24	
業務純益	7,064	599	6,465	
臨時損益	2,041	△ 823	2,864	
うち不良債権処理額(△)②	2,116	283	1,833	
うち偶発損失引当金戻入益③	7	7	-	
うち株式等関係損益	2,678	97	2,581	
うち金銭の信託運用損益	1,252	△ 233	1,485	
経常利益	9,102	△ 223	9,325	10,000
特別損益	-	-	-	
法人税、住民税等(調整額含)	2,980	593	2,387	
四半期(中間)純利益	6,121	△ 817	6,938	7,000
与信関係費用[①+②-③]	2,886	1,078	1,808	

(注) 1. コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券損益

コア業務純益 = 業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券損益

コア業務純益(除く投資信託解約損益) = コア業務純益-投資信託解約損益

投資信託解約損益は資金利益に、投資信託解約損は国債等債券損益に計上しております。

2. 2020年度第2四半期累計期間業績予想は、2020年5月15日に公表したものであります。

(参考1) 与信関係費用の内訳

(単位:百万円)

	2020年度 第1四半期 累計期間	前年同期比		2019年度 第1四半期 累計期間
一般貸倒引当金繰入額 ①	777	801		△ 24
不良債権処理額 (△) ②	2,116	283		1,833
個別貸倒引当金繰入額	1,973	295		1,678
偶発損失引当金繰入額	-	△ 28		28
責任共有制度負担金	143	18		125
偶発損失引当金戻入益 ③	7	7		-
与信関係費用 [① + ② - ③]	2,886	1,078		1,808

(参考2) 有価証券関係損益の内訳

(単位:百万円)

	2020年度 第1四半期 累計期間	前年同期比		2019年度 第1四半期 累計期間
国債等債券損益	△ 577	90		△ 667
売却益	25	△ 85		110
償還益	-	-		-
売却損	1	△ 63		64
償還損	601	△ 112		713
償却 ①	-	-		-
株式等関係損益	2,678	97		2,581
売却益	2,680	2		2,678
売却損	0	△ 42		42
償却 ②	1	△ 52		53
金銭の信託運用損益	1,252	△ 233		1,485
有価証券減損処理額 ①+②	1	△ 52		53

2. 主要勘定等の状況 (末残ベース)

(1) 貸出金

貸出金は、中小企業等向け貸出の増強に努めましたほか、大企業向け貸出が増加したこと等から、2020年3月末比 531億円増加しました。前年同期との比較でも 5.0%、2,384億円の増加となりました。

(単位:億円、%)

	2020年6月末			2020年3月末	2019年6月末
	2020年3月末比	2019年6月末比			
貸出金	49,477	531	2,384	48,946	47,093
うち 中小企業等向け貸出	30,945	30	1,554	30,915	29,391
中小企業向け	19,167	15	1,159	19,152	18,008
個人向け	11,778	15	395	11,763	11,383
うち住宅ローン	11,271	42	373	11,229	10,898
うち地公体等向け貸出	6,502	184	△ 82	6,318	6,584
中小企業等貸出比率	62.5	△ 0.6	0.1	63.1	62.4

(うち宮城県内)

貸出金	35,375	641	1,238	34,734	34,137
うち 中小企業等向け貸出	25,728	329	1,124	25,399	24,604
中小企業向け	14,373	313	737	14,060	13,636
個人向け	11,355	16	387	11,339	10,968
うち住宅ローン	10,870	44	365	10,826	10,505
うち地公体等向け貸出	5,518	198	△ 116	5,320	5,634
中小企業等貸出比率	72.7	△ 0.4	0.7	73.1	72.0
宮城県内貸出金シェア	43.3	0.3	0.4	43.0	42.9

(注) 2020年6月末の宮城県内貸出金シェアは、2020年5月末の計数。

(2) 有価証券

有価証券残高は、国債の運用額が減少したものの地方債等が増加したことから、2020年3月末比26億円増加しました。前年同期との比較では△ 1.2%、378億円の減少となりました。

(単位:億円)

	2020年6月末			2020年3月末	2019年6月末
	2020年3月末比	2019年6月末比			
有価証券	29,160	26	△ 378	29,134	29,538
株式	1,215	49	△ 82	1,166	1,297
債券	21,111	△ 448	△ 798	21,559	21,909
国債	3,532	△ 1,002	△ 3,168	4,534	6,700
地方債	7,975	541	2,446	7,434	5,529
社債	9,604	13	△ 76	9,591	9,680
その他	6,834	425	502	6,409	6,332

(参考) 金銭の信託	842	19	△ 319	823	1,161
------------	-----	----	-------	-----	-------

(有価証券評価差額)

有価証券	932	151	△ 434	781	1,366
株式	555	44	△ 87	511	642
債券	76	△ 20	△ 149	96	225
その他	301	127	△ 198	174	499

(参考) 金銭の信託	15	6	△ 101	9	116
------------	----	---	-------	---	-----

(3) 預金 (譲渡性預金を含む)

預金と譲渡性預金の合計額は、公金預金は減少したものの、個人預金および法人預金が増加したこと等から、2020年3月末比 3,104億円増加しました。前年同期との比較でも、4.5%、3,535億円の増加となりました。

(単位:億円、%)

	2020年6月末			2020年3月末	2019年6月末
		2020年3月末比	2019年6月末比		
預金 + 譲渡性預金合計	81,989	3,104	3,535	78,885	78,454
うち個人預金	53,428	2,225	2,721	51,203	50,707
うち法人預金	19,870	1,585	1,527	18,285	18,343
うち公金預金	8,359	△ 480	△ 717	8,839	9,076

(うち宮城県内)

預金 + 譲渡性預金合計	76,802	2,958	3,422	73,844	73,380
うち個人預金	51,035	2,176	2,645	48,859	48,390
うち法人預金	17,563	1,516	1,418	16,047	16,145
うち公金預金	7,919	△ 481	△ 639	8,400	8,558
宮城県内預金シェア	57.0	1.4	1.6	55.6	55.4

(注) 1. 宮城県内預金シェア (譲渡性預金は含まない) は、ゆうちょ銀行を除く。

2. 2020年6月末の宮城県内預金シェアは、2020年5月末の計数。

(4) 預り資産残高

預り資産残高は、保険が減少したものの、投資信託が増加したこと等から、2020年3月末と同水準の 5,191億円となりました。前年同期との比較では△ 6.6%、367億円の減少となりました。

(単位:億円)

	2020年6月末			2020年3月末	2019年6月末
		2020年3月末比	2019年6月末比		
預り資産残高	5,191	2	△ 367	5,189	5,558
投資信託	750	30	△ 121	720	871
保険	3,238	△ 34	△ 33	3,272	3,271
公共債	779	5	△ 222	774	1,001
外貨預金	156	8	7	148	149
仕組債等 (仲介)	268	△ 7	2	275	266

(注) 外貨預金は金融預金およびオフショア勘定を含まない。

(参考) グループ預り資産残高

(単位:億円)

	2020年6月末			2020年3月末	2019年6月末
		2020年3月末比	2019年6月末比		
グループ預り資産残高	6,052	48	△ 168	6,004	6,220

(注) グループ預り資産残高は、当行預り資産残高と七十七証券預り資産残高の合計。

3. 金融再生法ベースのカテゴリによる開示

要管理債権以下の合計残高は、2020年3月末比82億円増加の1,126億円となりました。
不良債権（要管理債権以下）比率は、2020年3月末比0.14ポイント上昇し、2.23%となりました。

（単位：億円）

	2020年6月末		2020年3月末
		2020年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	224	△ 6	230
危険債権	557	37	520
要管理債権	345	51	294
小計(A)	1,126	82	1,044
正常債権	49,253	494	48,759
合計(B)	50,379	576	49,803
不良債権比率(A) / (B)	2.23%	0.14%	2.09%

（参考）部分直接償却を実施した場合

当行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の不良債権比率は1.93%となります。

（単位：億円）

	2020年6月末		2020年3月末
		2020年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	70	△ 6	76
危険債権	557	37	520
要管理債権	345	51	294
小計(A)	972	82	890
正常債権	49,253	494	48,759
合計(B)	50,225	576	49,649
部分直接償却額	154	0	154
不良債権比率(A) / (B)	1.93%	0.14%	1.79%

4. 自己資本比率

自己資本額が69億円増加したものの、リスクアセットが731億円増加したことから、自己資本比率〔国内基準〕は2020年3月末比0.01ポイント低下し、10.13%となりました。

（単位：億円、%）

	2020年6月末		2020年3月末
		2020年3月末比	
自己資本比率〔国内基準〕 a/b	10.13	△ 0.01	10.14
自己資本額 a	4,192	69	4,123
（コア資本に係る基礎項目の額）	(4,194)	(69)	(4,125)
（コア資本に係る調整項目の額）	(2)	(0)	(2)
リスクアセット b	41,355	731	40,624

（注）2020年6月末の計数は速報値。